EA815YH-1

([AC100V/DC12V•DC24V]ハッテリーチャーシャー)

《使用目的》

バッテリーチャーシ・ャーは、家庭用AC100VをDC12V/DC24Vに変換して12V/24Vハ・ッテリー (開放型鉛ハ・ッテリー)への普通充電や、始動補助(セルフ・ースト)を行うものです。

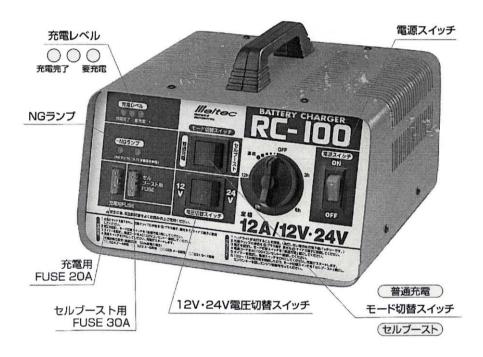
- *家庭用AC100V電源に接続されないと普通充電も、始動補助も出来ません。
- *使用目的以外の使用は絶対にしないで下さい。
- *普通自動車、トラック、小型農機、大型農機、小型船舶への充電、セルブーストに

適合バッテリー(開放型)

充電の目安 液温20℃・50%放電字のバッテリー							
適合バッテリー	OOB24(20)	OOD23	OOD26	OOD31	OOE41		
充電時間	約2~4h	約3~5h	約4~6h	約5~7h	約5~8h		

*6Vバッテリーやシール型(密閉型)バッテリーへの普通充電や始動補助(セルブースト)はできません。 車載バッテリーの種類及び形式を確認してください。

《各部の名称》



《機能説明》

- ◆普通充電機能…自然放電や夏期でのエアコン使用等で酷使され弱ったバッテリーを定期的な補充電で最良の状態に回復しバッテリーの寿命を伸ばします。
- ◆始動補助機能…バッテリーの容量不足によるエンジンの始動困難時に、10分~15分の補充電後、 始動補助できます。
- *始動補助機能での普通充電及び、補充電はできません。

《仕様》

<u>《江休》</u>					
交流入力		AC100V 50/60Hz 105VA			
直流出力	普通充電時	DC12V 12A			
	始動補助時	DC12V 50A(MAX)			
適合バッテリー電圧		12V/24V			
適合バッテリー容量		30Ah∼150Ah			
充電メーター(電流計)		赤(要充電)・黄・緑(充電完了)の3段階カラー表示			
入・出力コードの長さ		約1.4m			
サイス゛		235(W) × 170(H) × 222(D) mm			
重量		約7.3kg			
保護回路	入力側	ヒューズ(内蔵)			
	出力側	ヒューズ(普通充電20A、セルブースト30A)			
機能		充電タイマー機能(ダイアル式)、充電オートストップ機能			
保護機能		逆接·短絡保護回路装備			

《使用方法》

I. 充電するバッテリーの準備

バッテリーの液口栓(キャップ)を全部取り外し、液口の上に締め付けずのせておいてください。

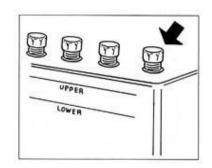
(充電中、バッテリー内部より発生するガスの排出及び、バッテリー液がまわりに飛び散らない様にするため。)

*安全液栓付バッテリー・液栓が外れないバッテリーを除く。

ハッテリーの電解液量を点検し、液面線の中間以下に低下している場合は最高液面線(UPPER LEVEL)まで精製水を補充してください。

【車上普通充電】

やむを得ずバッテリーを車両に搭載したままで充電を行う場合に は必ず!車両バッテリー マイナス端子のケーブルを外して下さい。





Ⅱ. 普通充電の操作手順

- ①準備のできたバッテリーのプラス端子に充電クリップの赤色プラスをバッテリーのマイナス端子に充電クリップに黒色マイナスを容易に外れないよう確実に接続して下さい。充電ランプが点灯します。
- ②本器の切換スイッチを充電側にセットします。
- ③タイマーを設定してください
- ④家庭用AC100Vコンセントに電源プラグを差し込みます。
- ⑤電源スイッチをONにしてください。充電が開始されます

充電レベルの確認

充電レベルランプは、赤色、黄色、緑色の全色点灯から充電が進むと赤色、黄色と順番に消灯し、 最終は緑色のみ点灯することで充電完了を表します

	LEDレベル表示	充電内容	作業内容
充電初期	緑黄赤	電流が流れすぎです。	1.0~20分程充電して赤色ラン ブが消灯しない場合は充電を中 止してください。
充電中期	緑色紅黄色紅	適性電流です。	そのまま充電を続けてください。
充電終期	禄色点灯	ほぼ満充電になりました。 緑色LEDのみが点灯してい ます。	緑色ランブ点灯後、30分位充電 すると満充電の状態です。それ 以上の長時間充電は過充電にな り危険ですのでご注意ください。

- ●充電初期から緑色LEDだけが点灯する(赤色・黄色LEDがすぐに消灯)場合
- ・バッテリー容量が小さい場合。
- ・充電できている(満充電の)場合。(充電の必要はありません)
- サルフェーションバッテリーの場合
- ●レベル表示のLEDが3色とも点灯し長時間赤色LEDが消灯しない場合
- ・【過放電したバッテリー、劣化・適合外バッテリー】等のバッテリーを充電されますと、
- 規定以上の電気量が流れ保護回路が作動して充電できない場合があります。
- ●深放電放置バッテリーに普通充電した場合
- ・放電したままバッテリーを長時間放置されますと、充電開始時、バッテリーは電気を受け付けません。 また、大電流が必要となり、保護のためヒューズが切れてしまいます。

Ⅲ. エンジン始動補助(セルブースト)の操作手順

家庭用AC100Vコンセントが必要です。延長コート、等をご用意下さい。

- ①車両のエンジンはOFFの位置にしてください。
- 電装品(エアコン、オーディオ等)もOFFにして下さい。
- ②車両のバッテリーは通常搭載されたままの状態で、バッテリー液口栓(キャップ)も車両側バッテリーも外さないで下さい。
- ③充電器をエンシンスタート時の振動などで、動いたり落ちたりしない 所に置いて下さい。
- ④本器の充電クリップ赤色プラスを、バッテリーの車両ケーブルプラス端子に. ³ 充電クリップ黒色マイナスを車両のエンジンプロックに接続して下さい。
- 極性のプラスマイナスを間違わず、充電クリップが容易に外れないよう確! に接続してください。
- ⑤本器の切換スイッチを充電側にセットしてください。
- ⑥タイマーを設定してください
- ⑦家庭用AC100Vコンセントに電源プラグを接続して下さい。
- 10分~15分充電【補充電】して下さい。
- ハッテリー容量・周囲温度により補充電の時間は変わります。容量が 大きいほど、又温度が低いほど長く補充電して下さい。
- ⑧補充電後、切替スイッチをセルブースト側にセットし
- 【通電3秒以下】・【休止7秒以下】で【繰り返し回数10回以下】で エンジンキーを廻して始動して下さい。

セルモーターの回転が重い(遅い)状態や、エンジンがかからない時は 切替スイッチを充電側に戻し、再度補充電を30分以上行ってから 切替スイッチをセルブースト側にセットし、エンジンキーを廻して始動 させて下さい。

再度補充電しても、セルモーターの回転が重い(遅い)状態や、エンジンがかからない時はバッテリーの完全放電や不良が考えられます。 普通充電中で充電し比重計などでバッテリーの状態を確認して下さい エンジン始動補助(セルブースト)として使用するときは、 【通電3秒以下】・【休止7秒以下】で【繰り返し回数10回以下】 を厳守して下さい。

